

かむる 地球温暖化

秋なのにサクラが!
春のサクラの時期も
どんどん早く!

ちおんいんまえ 知恩院前のサクラ (2004年10月11日撮影)

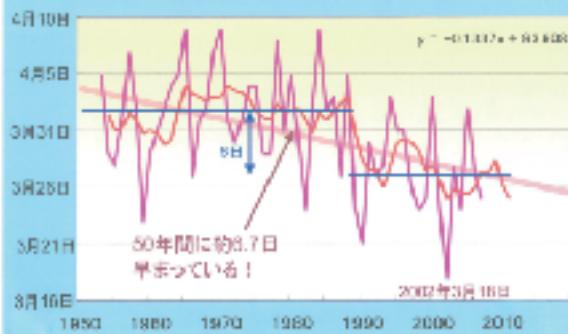


ソメイヨシノの異常開花と異常発芽



ヒガンザクラの異常開花

京都のサクラの開花も早まっている
(1953-2007)



くわしい説明 ~大人の方向け~

近年の猛暑や台風によるダメージが原因で、秋に桜が咲いたり樹木が発芽したりすることが多くなっています。2004年には、日本列島は猛暑と台風で東北から九州まで広い範囲でソメイヨシノを始め多くの桜や樹木が秋に開花したり発芽したりしました。京都でも、ソメイヨシノを始め多くのサクラが秋に狂い咲きました。秋に開花した花は翌春には開花しないため、このような状態が継続的に生じると次第に正常に開花しなくなることが懸念されます。

サクラ(ソメイヨシノ)の開花日は全国的に早まっています。1953年以降の50年間に中小規模都市で2.8日早まっているのに対し大都市では6.1日早まっており、ヒートアイランドが大きく影響しています。京都は6.7日早まっており、近畿地方の中でも最も早まっています。サクラ前線は一般に南から北へと移動していましたが、近年は都市域から開花するようになり、サクラ前線が北から南下する地域もあります。特に1990年以降の早まりが顕著で、2002年は東北南部でも3月中に開花し、京都でも3月18日の開花日を迎え、入学式ではなく卒業式のサクラとなりました。

(龍谷大学経済学部教授 増田啓子氏)